

調 査 書

受付番号	※
------	---

(ふりがな) 氏 名		性別		卒 業	平成 年 月 日 卒業 ・ 卒業見込
生年月日	平成 年 月 日生			現住所	

学 習 の 記 録	区 分	I 観点別学習状況			II 評定			特 別 活 動 の 記 録	学 年	1 年	2 年	3 年	
		教 科	観 点		評 価	1年	2年						3年
			国 語	社 会									
学 習 の 記 録	国 語	国語への関心・意欲・態度						学 級 活 動					
		話す・聞く能力											
		書く能力											
		読む能力											
	社 会	言語についての知識・理解・技能						生 徒 会 活 動					
		社会的な思考・判断・表現											
		資料活用の技能											
		社会的な事象についての知識・理解											
	数 学	数学への関心・意欲・態度						学 校 行 事					
		数学的な見方や考え方											
		数学的な技能											
		数量や図形などについての知識・理解											
	理 科	自然事象への関心・意欲・態度						体 育・文 化・奉 仕 活 動 等					
		科学的な思考・表現											
		観察・実験の技能											
自然事象についての知識・理解													
音 楽	音楽への関心・意欲・態度												
	音楽表現の創意工夫												
	音楽表現の技能												
	鑑賞の能力												
美 術	美術への関心・意欲・態度												
	発想や構想の能力												
	創造的な技能												
	鑑賞の能力												
保 健 体 育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度						行 動 の 記 録						
	運動や健康・安全についての思考・判断												
	運動の技能												
	運動や健康・安全についての知識・理解												
技 術・家 庭	生活や技術への関心・意欲・態度												
	生活を工夫し創造する能力												
	生活の技能												
	生活や技術についての知識・理解												
外 国 語	コミュニケーションへの関心・意欲・態度						出 欠 の 記 録						
	外国語表現の能力												
	外国語理解の能力												
	言語や文化についての知識・理解												
選 択 教 科													

総合的な学習の時間	
卒業後の記録	
特記事項	

上記の記載事項に相違ないことを証明する。

平成 年 月 日

中学校名 校長氏名



調査書作成上の注意事項

1 用紙（B4判縦長）

CD等により配付した様式を使用することとし、それに直接入力するか、又は様式を印刷し、手書きにより記入（ゴム印使用可）するかのいずれかによることとする。

2 ※欄（受付番号欄）には記入しない。また、選択を必要とする事項は、該当事項を○印で囲む。

3 外国籍を有する志願者等については、本人が希望する氏名を用いる。

4 現住所の欄は、県内志願者については郡市名から、県外志願者については県名から書き始める。

5 学習の記録

(1) 観点別学習状況

学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、第3学年の状況を、A、B、Cの3段階で記入する。

A 十分満足できると判断されるもの

B おおむね満足できると判断されるもの

C 努力を要すると判断されるもの

(2) 教科（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語（以下「各教科」という。）」の評定

ア 第1、2学年……指導要録から転記する。

イ 第3学年

平成30年3月卒業見込みの者

各教科については、各教科の評定を目標に準拠した評価（絶対評価）で5段階評定とし、学習成績一覧表（様式第2号）から転記する。

5 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの

4 十分満足できると判断されるもの

3 おおむね満足できると判断されるもの

2 努力を要すると判断されるもの

1 一層努力を要すると判断されるもの

平成29年3月までに卒業した者

指導要録から転記する。

(3) 選択教科

第1、2学年の評定欄については、指導要録から転記し、第3学年の評定欄については、設定された目標に照らして3段階（A、B、C）で記入する。

6 総合的な学習の時間に関する記録

平成15年3月以降の中学校卒業生及び中学校卒業見込みの者について、第3学年で行った学習活動及びその評価等について記入する。

7 特別活動等の記録

項目ごとに、所属する係名や委員会名及びその役職名並びに学校行事における役割名等を記入する。記入に当たっては、名称のみでもよい。

なお、体育・文化・奉仕活動等の欄については、次に該当するものを記入する。

- (1) 部活動において著しく優秀な成績をあげたもの。
- (2) その他の体育活動及び文化活動において著しく優秀な成績をあげたもの。
- (3) 家庭や社会における奉仕活動等の善行、学校内外における表彰を受けた行為や活動等、課外における活動のうち、生徒の長所と判断されるものなど。

8 行動の記録

第3学年の各教科、道徳、特別活動、その他学校生活全体にわたって認められる生徒の行動の状況について記入する。各項目ごとに十分満足できる状況にあると判断される場合は、欄内に○印を記入する。また、特に必要があれば、項目を追加して記入する。

また、過年度卒業者については、指導要録から転記するものとし、該当する項目がない場合は空欄を利用して記入する。

9 出欠の記録

- (1) 指導要録から転記する。ただし、卒業見込みの者の第3学年の欄は、平成30年1月12日(金)までの状況を記入する。
- (2) 欠席の主な理由は、1週間以上の連続欠席及び年間10日以上欠席について、その理由を記入する。

10 卒業後の記録

過年度卒業者の、卒業以後現在までの生活態度、学習状況等について、就職者はその職歴を、他の学校・専修学校又は各種学校の就学者は在学中の成績等を、無職の者は家庭での状況等を、事業主、学校からの資料又は保護者の報告に基づき記入する。枠内に書ききれない場合は、紙を貼り足して記入する(裏面添付も可)。その場合は、校長印で割印すること。中学校において記入された事項以外の資料の添付は認めない。

11 特記事項

転入学又は編入学の記録、若しくは再募集入学者選抜の志願者で一般入学者選抜を受検していないこと等、特に必要な事項があれば記入する。

12 調査書の記載内容は、推薦入学者選抜、一般入学者選抜及び再募集入学者選抜とも同一のものとする。ただし、推薦入学者選抜又は一般入学者選抜以後に特記事項欄に記載すべき事項が生じた場合はこの限りでない。

13 使用しない欄(該当事項のない欄)には、様式第1号[記入例]を参考に、「なし」と記入するか斜線を引くこととし、空欄のままにしないこととする。

[記入例]

様式第1号 (中学校→高等学校)

調 査 書

受付番号	※
------	---

(ふりがな) 氏 名	とつとり たろう 鳥取 太郎	性別	男	卒 業	平成 30 年 3 月 31 日 卒業 ・ (卒業見込)
生年月日	平成 14 年 12 月 26 日生			現住所	〇〇市△△町×××番地

区 分	I 観点別学習状況		II 評定			特 別 活 動 等 の 記 録	学 年	1 年	2 年	3 年			
	観 点	評 価	1 年	2 年	3 年								
国 語	国語への関心・意欲・態度	A	3	3	4	学級活動	なし	なし	なし	なし			
	話す・聞く能力	A											
	書く能力	B											
	読む能力	B											
社 会	言語についての知識・理解・技能	A	2	3	3	生徒会活動	××委員	〇〇委員	△△委員	学校行事	なし	なし	なし
	社会的な思考・判断・表現	B											
	資料活用の技能	A											
	社会的な事象についての知識・理解	B											
数 学	数学への関心・意欲・態度	A	3	2	3	等 級	なし	なし	なし	なし	なし	なし	
	数学的な見方や考え方	B											
	数学的な技能	B											
	数量や図形などについての知識・理解	C											
理 科	自然事象への関心・意欲・態度	B	3	3	4	記 録	体育・文化・奉仕活動等	2年 県中学校吹奏楽コンクール 金賞 (県中学校吹奏楽連盟主催)	3年 県総合体育大会 第3位 (中体連主催)	NPO法人〇〇主催の地球環境ボランティア活動に毎回欠かさず参加	バスケットボール	3年 県総合体育大会 第3位 (中体連主催)	
	科学的な思考・表現	C											
	観察・実験の技能	A											
	自然事象についての知識・理解	A											
音 楽	音楽への関心・意欲・態度	B	3	2	3	記 録	体育・文化・奉仕活動等	2年 県中学校吹奏楽コンクール 金賞 (県中学校吹奏楽連盟主催)	3年 県総合体育大会 第3位 (中体連主催)	NPO法人〇〇主催の地球環境ボランティア活動に毎回欠かさず参加	バスケットボール	3年 県総合体育大会 第3位 (中体連主催)	
	音楽表現の創意工夫	A											
	音楽表現の技能	B											
	鑑賞の能力	B											
美 術	美術への関心・意欲・態度	A	5	4	4	記 録	体育・文化・奉仕活動等	2年 県中学校吹奏楽コンクール 金賞 (県中学校吹奏楽連盟主催)	3年 県総合体育大会 第3位 (中体連主催)	NPO法人〇〇主催の地球環境ボランティア活動に毎回欠かさず参加	バスケットボール	3年 県総合体育大会 第3位 (中体連主催)	
	発想や構想の能力	B											
	創造的な技能	A											
	鑑賞の能力	B											
保 健 体 育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	A	5	5	5	記 録	体育・文化・奉仕活動等	2年 県中学校吹奏楽コンクール 金賞 (県中学校吹奏楽連盟主催)	3年 県総合体育大会 第3位 (中体連主催)	NPO法人〇〇主催の地球環境ボランティア活動に毎回欠かさず参加	バスケットボール	3年 県総合体育大会 第3位 (中体連主催)	
	運動や健康・安全についての思考・判断	A											
	運動の技能	A											
	運動や健康・安全についての知識・理解	A											
技 術・家 庭	生活や技術への関心・意欲・態度	A	4	5	5	記 録	体育・文化・奉仕活動等	2年 県中学校吹奏楽コンクール 金賞 (県中学校吹奏楽連盟主催)	3年 県総合体育大会 第3位 (中体連主催)	NPO法人〇〇主催の地球環境ボランティア活動に毎回欠かさず参加	バスケットボール	3年 県総合体育大会 第3位 (中体連主催)	
	生活を工夫し創造する能力	A											
	生活の技能	B											
	生活や技術についての知識・理解	A											
外 国 語	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	A	3	4	4	記 録	体育・文化・奉仕活動等	2年 県中学校吹奏楽コンクール 金賞 (県中学校吹奏楽連盟主催)	3年 県総合体育大会 第3位 (中体連主催)	NPO法人〇〇主催の地球環境ボランティア活動に毎回欠かさず参加	バスケットボール	3年 県総合体育大会 第3位 (中体連主催)	
	外国語表現の能力	B											
	外国語理解の能力	B											
	言語や文化についての知識・理解	A											
選 択 教 科	国 語			B									
	社 会				B								
	数 学				A								
	外国語									A			

特 別 活 動 等 の 記 録	学 年	1 年	2 年	3 年
学級活動		なし	なし	なし
生徒会活動		××委員	〇〇委員	△△委員
学校行事		なし	なし	なし
等 級		なし	なし	なし
記 録		・バスケットボール 3年 県総合体育大会 第3位 (中体連主催) ・吹奏楽部 2年 県中学校吹奏楽コンクール 金賞 (県中学校吹奏楽連盟主催) ・NPO法人〇〇主催の地球環境ボランティア活動に毎回欠かさず参加		

行 動 の 記 録			
基本的な生活習慣	<input type="radio"/>	思いやり・協力	
健康・体力の向上		生命尊重・自然愛護	
自主・自律		勤労・奉仕	<input type="radio"/>
責任感		公正・公平	
創意工夫	<input type="radio"/>	公共心・公德心	

出 欠 の 記 録			
学 年	区 分	欠 席 日 数	主 な 理 由
1 年		16	××により入院のため
2 年		3	
3 年		2	

卒 業 後 の 記 録	
特 記 事 項	

総合的な学習の時間の記録

..... (学習活動の内容)について学習した。.....
 ... (評価等)であった。

上記の記載事項に相違ないことを証明する。

平成 30 年 2 月〇〇日

中学校名 校長氏名 〇〇市立△△中学校 大山 一郎 印

学 習 成 績 一 覧 表

平成 29 年度 第3学年 組												
番号	氏名	各 教 科 の 評 定									合計 素点	備 考
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語		
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												
31												
32												
33												
34												
35												
36												
37												
38												
39												
40												
学級 合計	評定5の数											
	〃 4 〃											
	〃 3 〃											
	〃 2 〃											
	〃 1 〃											
	その他の人数											
合計人数												

上記の記載に相違ないことを証明する。

平成 年 月 日

中学校 校長 氏名 印

- (注) 1 この表は、在籍している第3学年の生徒全員について、学級ごとに作成する。
 2 各教科の評定は、目標に準拠した評価で5段階とし、調査書に記入する評定と同一のものであること。
 3 各学級の出席番号の順に記載する。
 4 過年度卒業者については、この表の作成は不要である。
 5 県外志願者については、各都道府県が定める様式で代えることができる。
 6 この表は、志願先高等学校への提出は不要であるが、県教育委員会からの求めがあれば、提出できるようにしておくこと。

学 習 成 績 分 布 表

平成 年 月 日

鳥取県教育委員会教育長
 ○ ○ ○ 高等学校長 様

中学校名

校長氏名

印

平成 29 年度 第3 学年		各 教 科 の 評 定								
教 科		国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保健体育	技術・家庭	外国語
評 定	人 数									
	割 合 (%)									
5 を与えた	人 数									
	割 合 (%)									
4 を与えた	人 数									
	割 合 (%)									
3 を与えた	人 数									
	割 合 (%)									
2 を与えた	人 数									
	割 合 (%)									
1 を与えた	人 数									
	割 合 (%)									
その他の人数										
学年合計人数										

備 考：割合(%)は、小数第2位を四捨五入する。また、割合(%)の計が100とならない場合もある。

- (注) 1 この表は、学習成績一覧表に基づき、第3学年の生徒全員の各教科の評定別人数及び割合を記入する。
- 2 「その他の人数」は、評定1～5以外の評価（文章記述等）を与えた人数を記入する。
- 3 「学年合計人数」は、各教科ごとの評定した人数に「その他の人数」を合計し、この数をもとに各評定の割合を算出する。
- 4 各中学校の校長は、この学習成績分布表を志願先高等学校の校長（課程別、推薦入試・一般入試ごとに各1通）に提出する。志願変更及び再募集の出願時には、これまでに提出していない高等学校にのみ提出することとする。
- 5 過年度卒業者については、この表の作成及び提出は不要である。
- 6 各中学校の校長は、この学習成績分布表を県教育委員会（高等学校課）に、平成30年2月22日（木）正午までに提出することとする。
- 7 用紙の規格はA4判縦長とする。

平成30年度 推薦入学志願書

鳥取県立

高等学校長 様

平成 年 月 日

推薦入学者選抜により貴校に入学したいので、下記のとおり出願します。

記

志望学科	科	課程	学科	※	受付番号
	コース				
志願者	氏名 (ふりがな)		性別		
	生年月日	平成	年	月	日生
	現住所	〒			
保護者氏名	出身中学校	(平成	年	月	日 卒業・卒業見込)
					印

(裏面に注意事項あり)

推薦入学受検証

受検番号 ※

氏名

性別 ()

平成 年 月 日生

上記の者は、平成30年度鳥取県立高等学校推薦入学
者選抜の受検者であることを証する。

鳥取県立

高等学校長

印

割印

[推薦用]

氏名	受検番号 ※
----	--------

鳥取県収入証紙貼り付け欄

(消印してはならない)
(点線をはみだしてよい)

〔全日制 2,200円〕
〔定時制 1,000円〕

実施期日等

- 1 実施期日 平成30年2月9日(金)
- 2 実施場所 各推薦入試実施校
- 3 実施方法等詳細については、各推薦入試実施校において別途指示する。
- 4 面接又は口頭試問、作文又は小論文、実技検査の結果については受検者本人の口頭の請求により開示する。
 - ・ 開示期間は、3月14日(水)から4月13日(金)までの1ヶ月間(ただし、日曜日、土曜日及び国民の祝日を除く)。
 - ・ 受付時間は、3月14日(水)は正午から午後4時30分まで、それ以外の日は午前9時から午後4時30分まで。
 - ・ 請求の際は、受検証の他に本人であることを証明する書類(学生証、保険証など)を持参すること。

記載上の注意事項

- 1 県教育委員会が配付した用紙を使用すること。コピーは不可とする。
- 2 出願は、一人1校1学科又は1コースに限る。
- 3 推薦入学志願書の日付は出願日(出願予定日)とする。
- 4 志望学科欄には、課程名、大学科名及び小学科名を記入する。また、コースを選択する場合は、小学科名の下にあわせてコース名を記入すること。
- 5 氏名欄には、調査書と同一の氏名を記入すること。
- 6 現住所欄には、郵便番号及び現住所を記入する。現住所は、県内志願者は郡市名から、県外志願者は都道府県名から記入すること。
- 7 出身中学校欄には、中学校名及び卒業(卒業見込)年月日を記入し、卒業・卒業見込のどちらかを○でかこむこと。
- 8 入学選抜手数料を鳥取県収入証紙で納付する場合は、鳥取県収入証紙貼り付け欄に貼り付けること。
- 9 ※印の欄(受付番号・受検番号)は、記入しないこと。
- 10 受検証の氏名欄、性別欄及び生年月日欄もあらかじめ志願者において記入しておくこと。
- 11 鳥取県収入証紙貼り付け欄上の氏名欄もあらかじめ志願者において記入しておくこと。

受付番号	※
------	---

推 薦 書

平成 年 月 日

鳥取県立 高等学校長 様

中学校名

校長氏名



下記の者を、貴校 課程 学科 科 へ推薦します。
コース

記

1 氏 名 性別 ()

2 生年月日 平成 年 月 日生

3 推薦理由

志望の動機・理由 及び学科に対する 適性・興味・関心 についての所見	
人 物 所 見	
その他特記事項	

- (注)
- ※印の欄（受付番号）は、記入しないこと。
 - 各種の記録や入賞歴等は、「その他特記事項」の欄に記入すること。
 - 用紙の規格はA4判縦長とする。

志 願 者 数 一 覧 表

課 程	大 学 科	小 学 科 (コース)	志願者数	志 願 者 数 の う ち			
				過年度 卒業者	配慮申請書 I の提出者	配慮申請書 II の提出者	自 己 申告書 提出者
計							

貴校に入学志願する者は、上表のとおりです。

平成 年 月 日

中学校名
校長氏名



鳥取県立 高等学校長 様

- (注) 1 一般入試の場合は、志願者数の欄には、推薦入試における入学確約者を人数に加えないこと。
 2 一般入試の場合は、志願者数の欄には、第一志望の志願者数を記入すること。
 3 志願変更時及び再募集入学者選抜時の提出は不要。
 4 用紙の規格はA4判縦長とする。

推薦入学志願者数等報告書 [2月6日 午後1時まで 2月9日 正午まで]

(課程)

高等学校名

小学科 (コース)	募集 定員	推薦 募集 人員 (A)	志願 者数	志願者数のうち			受検 者数	合格 内定 者数	入学 確約 者数 (B)	入学確約者のうち			(B) - (A)
				過年度 卒業者	県外志願者 県名	自己 申告書 提出者				過年度 卒業者	県外志願者 県名	自己 申告書 提出者	
計													
提出期限	2月6日 午後1時まで						2月9日 正午まで	2月16日 午後1時まで					

(注) 1 県外志願者欄の県名欄には、当該都道府県名及び志願者数を記入すること。ただし、県外指定地域志願者である場合は、当該指定地域の市町村名及び志願者数を外数で記入すること。(例…兵庫県(1)、新温泉町(2))
 2 「(B)-(A)」欄は、「推薦募集人員」欄と「入学確約者数」欄との過不足数を記入し、不足時には△印をつける。
 3 用紙の規格はA4判横長とする。

推薦入学者選抜結果通知書

平成 年 月 日

中学校長 様

高等学校名

校長氏名



貴校から推薦いただきました志願者について、下記のとおり決定しましたので通知します。

記

志望学科（コース）	受検番号	選抜結果	備考

- (注) 1 選抜結果欄には「合格内定」「不合格」のいずれかを記入する。
2 平成30年2月15日（木）午後1時までには通知すること。なお、通知はFAX又は電子メール可とし、その場合は、原本を平成30年2月16日（金）までに送付すること。
3 用紙の規格はA4判縦長とする。

合格内定辞退書

平成 年 月 日

鳥取県立

高等学校長 様

受検番号

本人氏名

保護者氏名

印

このたび、平成30年度鳥取県立高等学校推薦入学者選抜において、貴校 課程 学科
科
コース に合格が内定しましたが、下記理由により合格を辞退します。

記

理由

〔

〕

上記のことについては、やむを得ないと考えます。

中学校名

校長氏名

印

- (注)
- 1 中学校長は、平成30年2月16日（金）正午までに提出すること。なお、提出はFAX又は電子メール可とし、その場合は、原本を平成30年2月20日（火）までに親展で提出すること。（郵送可）
 - 2 理由欄には、辞退の理由を具体的に記入すること。
 - 3 用紙の規格はA4判縦長とする。

入学確約者数・合格内定辞退者数報告書

鳥取県立

高等学校長 様

課 程	大学科	小学科（コース）	合格内定者数	入学確約者数	合格内定辞退者数
計					

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成 年 月 日

中学校名

校長氏名



- (注) 1 平成30年2月16日（金）正午までに提出すること。なお、提出はFAX又は電子メール可とし、その場合は、原本を平成30年2月20日（火）までに親展で提出すること。（郵送可）
- 2 用紙の規格はA4判縦長とする。